



発行所 大和印刷所
印刷所 大和印刷所
印刷所 大和印刷所

本紙の主旨
本紙の主旨は、磐城の産業の発展を促進し、農民の生活を改善することにある。

特輯 産業版

漸く白熱的運動を開始した 税制大改革の 農村負債

軽減は農家の休戚に 重大問題

磐城の農村に漸く白熱的運動を開始した。税制大改革の農村負債問題が、農家の休戚に重大な問題として浮上りつつある。この問題が、農家の生活にどのような影響を及ぼすのか、その軽減は農家の休戚に重大な問題として浮上りつつある。

今日の八千五百萬圓まで

今日の農村負債は八千五百萬圓に達している。これは、農家の生活に重大な影響を及ぼしている。この負債の軽減は、農家の生活の安定に不可欠な要素である。

重荷を除去

農家の重荷を除去することは、農村の発展にとって不可欠である。政府は、農家の負債を軽減するための政策を実施すべきである。

愚案一蹴

愚案を一蹴することは、農村の発展にとって不可欠である。政府は、農家の負債を軽減するための政策を実施すべきである。

負債整理法

負債整理法の内容は、農家の負債を軽減するための政策である。これは、農家の生活の安定に不可欠な要素である。

本縣も近く参加

本縣も近く参加することは、農村の発展にとって不可欠である。政府は、農家の負債を軽減するための政策を実施すべきである。

負債整理組合と金銭負債臨時調停法との関係

負債整理組合と金銭負債臨時調停法との関係は、農村の発展にとって不可欠である。政府は、農家の負債を軽減するための政策を実施すべきである。

次回総選挙を廻る秘録

政友お二人の皮算用

計畫を關に終始して居る鈴木

井上は自畫白讀の自己陶醉

佐藤は反鈴木派を利用の作戦

手形發行禁止の内容分拆

關内が井上に附随は

大なる不利に立つ

島田氏の政界轉向

今後の進路は民政

萬年候補補に憤慨か



四倉版

庶民階級の救濟機關

公益質屋施設は

大衆の要望急なり

漁港工事に大欠陥

一考を要すべき

重大問題なり(其二)

花柳界

色サビビス

警察官吏と海水浴

自力更生

町會議員訪問記

勝手の電柱代

本日から一週に亘り、本報は「四倉版」を掲載する。これは、庶民階級の救済機關として、公益質屋施設の建設が、大衆の要望に急がれることである。漁港工事に大欠陥が生じていること、一考を要すべき重大問題が、花柳界の現状、警察官吏と海水浴の問題、自力更生の重要性、町會議員訪問記、勝手の電柱代など、多岐に亘る社会問題を扱っている。

村長 越智又助氏

双葉郡廣野村

村長 越智又助氏は、廣野村の発展と村民の福祉を第一と心得、村政の刷新に努めている。特に、漁業の振興と農村の整備に力を入れている。また、教育の充実と村民の健康増進にも積極的に関与している。彼のリーダーシップの下、廣野村は着実に歩みを進めている。

花柳界

色サビビス

花柳界の現状は、戦後大きく変化した。かつての繁華街は、静寂をたたえている。しかし、新たな娯楽施設が立ち上がり、新しい文化が生まれている。色サビビスは、この変化を捉え、新しい娯楽を提供している。読者は、この変化を通じて、時代の流れを感じることができる。

警察官吏と海水浴

自力更生

警察官吏と海水浴の問題は、社会の注目を集めている。警察官の休暇と海水浴場の混雑、これは社会の発展に伴って生じた課題である。自力更生の精神で、この課題を解決しようとする声が高まっている。これは、国民の自覚と協力の成果である。

町會議員訪問記

勝手の電柱代

町會議員訪問記は、町政の現状と課題を明らかにしている。勝手の電柱代問題は、住民の生活に大きな影響を与えている。町議員は、この問題を解決するために、積極的に行動している。読者は、町政の改善のために、町議員の働きに理解と協力を示さなければならない。

小名濱版 事業と人物欄

上水道實現の急務

磐城に於ける小名濱版は、上水道の實現に當り、急務を感ずる。現に市内の衛生状態は、極めて悪化を來して居る。此の故に、市民の健康は、甚だしく損なはれて居る。故に、上水道の實現は、市民の健康を保全するに當り、最も重要な事業である。故に、市民の健康を保全するに當り、最も重要な事業である。故に、市民の健康を保全するに當り、最も重要な事業である。

小名濱代表的 未來ある紳商 高木忠治君

高木忠治君は、小名濱に於ける代表的な紳商である。君は、商業の発展に當り、常に先見の明を以て行動し、市民の利益を顧みない。君の事業は、常に進歩を遂げ、小名濱の繁栄に寄与して居る。君の誠實な態度と、不屈の精神は、市民の尊敬を集めて居る。君の事業は、常に進歩を遂げ、小名濱の繁栄に寄与して居る。君の誠實な態度と、不屈の精神は、市民の尊敬を集めて居る。

中央で活躍する 郷土の名士 (四) 立花壽徳、勝の三兄弟

立花壽徳、勝の三兄弟は、中央で活躍する郷土の名士である。彼等は、郷土の発展に當り、常に先見の明を以て行動し、市民の利益を顧みない。彼等の事業は、常に進歩を遂げ、郷土の繁栄に寄与して居る。彼等の誠實な態度と、不屈の精神は、市民の尊敬を集めて居る。彼等の事業は、常に進歩を遂げ、郷土の繁栄に寄与して居る。彼等の誠實な態度と、不屈の精神は、市民の尊敬を集めて居る。

新典途上の小名濱語

小野務平執筆 大和田兵衛編集
行文は著者獨特の流麗にして、観衆を惹きつけて、自洽行政を論じ、産業を語り、人物を評論し、統計を示す等、一般を描く。舊より新に及ぶ将来を談ずる小名濱町の大パノラマなり。

町役場の動向 刷新か其れ共現狀維持か

興味は百パーセントなり
町役場の動向は、市民の注目を集めて居る。刷新か其れ共現狀維持か、市民の間では、大きな議論を巻き起こして居る。市民は、町役場の刷新を望んで居る。刷新は、町役場の業務を効率化し、市民の利益を顧みない。刷新は、町役場の業務を効率化し、市民の利益を顧みない。

新町議の側面観

新町議の側面観は、市民の注目を集めて居る。新町議の側面観は、市民の間では、大きな議論を巻き起こして居る。市民は、新町議の刷新を望んで居る。刷新は、新町議の業務を効率化し、市民の利益を顧みない。刷新は、新町議の業務を効率化し、市民の利益を顧みない。

磐城の発展に當り、常に先見の明を以て行動し、市民の利益を顧みない。磐城の発展に當り、常に先見の明を以て行動し、市民の利益を顧みない。磐城の発展に當り、常に先見の明を以て行動し、市民の利益を顧みない。磐城の発展に當り、常に先見の明を以て行動し、市民の利益を顧みない。磐城の発展に當り、常に先見の明を以て行動し、市民の利益を顧みない。

